

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 一般教養 I |
| 実務家教員授業 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 40時間 |
| 授業コマ数 | 20コマ |
| 授業概要 | 漢字の学習を通じ、基本的な読み方、書き方など未習の語句を知り、熟語に関する知識を身に付ける |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | 学習を通じ使える言葉を増やし、日常生活の会話表現で使用する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名 2 訓読み・送り仮名 3 訓読み・送り仮名 4 訓読み・送り仮名 5 語句ディスカッション・ミニテスト 6 熟語 7 熟語 8 熟語 9 熟語 10 熟語 11 語句ディスカッション・ミニテスト 12 異字同訓・同音異義 13 反対語 14 誤字訂正 15 誤字訂正・類義語 16 語句ディスカッション・ミニテスト 17 漢字の意味・使い方 18 漢字の意味・使い方 19 漢字の意味・使い方 20 まとめ・確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | ミニテスト、確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 一般教養Ⅱ |
| 実務家教員授業 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 20時間 |
| 授業コマ数 | 10コマ |
| 授業概要 | 漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など未習の語句を知り、熟語に関する知識を身につける |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | 学習を通じ使える言葉を増やし、日常生活の会話表現で使用する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正・類義語・反対語 4 語句ディスカッション・ミニテスト 5 漢字の意味・使い方 6 ことわざ・故事成語・慣用句 7 語句ディスカッション・ミニテスト 8 特殊な漢字の読み書き 9 語句ディスカッション・ミニテスト 10 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | ミニテスト、確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 文書作成 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義及び実習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 会話表現とは異なる、定型文書などビジネス文書作成に必要な基礎知識を身に付ける |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | 必要な表現方法を自ら調べ、基本的な文書作成を行えるようになる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文書作成概要 2 文書作成概要 3 文書作成概要 4 文書作成概要 5 文書作成概要 6 ディスカッション 7 問題演習・ミニテスト 8 文書作成に必要な基礎知識 9 文書作成に必要な基礎知識 10 文書作成に必要な基礎知識 11 文書作成に必要な基礎知識 12 文書作成に必要な基礎知識 13 ディスカッション 14 問題演習・ミニテスト 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 文書実務 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 文書表現の基礎的な知識を理解し、文書を速く正確に読み取る基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | ビジネス文書内容を正しく解釈し、ビジネス用語を正しく使えるようになる |
| 教科書 | オリジナルテキストおよび問題集 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文書実務の基礎知識 2 文書実務の基礎知識 3 文書実務の基礎知識 4 文書実務の基礎知識 5 文書実務の基礎知識 6 問題演習・ミニテスト 7 問題演習・ミニテスト 8 分かりやすい文書知識 9 分かりやすい文書知識 10 分かりやすい文書知識 11 分かりやすい文書知識 12 分かりやすい文書知識 13 問題演習・ミニテスト 14 問題演習・ミニテスト 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | ビジネスマナー基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 社会で必要とされているビジネスマナーを知り、基礎知識を座学と演習から学ぶ |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、[知る]から[身に付く]へステップアップを図る |
| 達成目標 | マナーについて自ら調べ研究し、基本的な所作が行えるようにする |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ビジネスマナーの基礎知識 2 敬語表現 3 敬語表現 4 敬語表現 5 敬語表現 6 問題演習・ミニテスト 7 問題演習・ミニテスト 8 項目別チェックテスト 9 質疑応対 10 質疑応対 11 質疑応対 12 質疑応対 13 問題演習・ミニテスト 14 問題演習・ミニテスト 15 項目別チェックテスト 16 礼儀作法 17 礼儀作法 18 礼儀作法 19 礼儀作法 20 問題演習・ミニテスト 21 問題演習・ミニテスト 22 項目別チェックテスト 23 身だしなみ 24 身だしなみ 25 身だしなみ 26 身だしなみ 27 問題演習・ミニテスト 28 問題演習・ミニテスト 29 項目別チェックテスト 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 項目別チェックテスト、確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | ビジネスコミュニケーション論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 社会で必要とされているビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付け、基礎知識について学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | ビジネスコミュニケーションを考える上で重要な、設定場面における所作、立ち振る舞いを身につける |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネスコミュニケーション概要 2 ビジネスコミュニケーション概要 3 ビジネスコミュニケーションの必要性 4 ビジネスコミュニケーションの必要性 5 項目別問題演習・ミニテスト 6 挨拶と敬語 7 挨拶と敬語 8 挨拶と敬語 9 挨拶と敬語 10 挨拶と敬語 11 項目別問題演習・ミニテスト 12 電話応対 13 電話応対 14 電話応対 15 電話応対 16 電話応対 17 項目別問題演習・ミニテスト 18 応対の基本 19 応対の基本 20 応対の基本 21 応対の基本 22 項目別問題演習・ミニテスト 23 訪問 24 訪問 25 訪問 26 訪問 27 項目別問題演習・ミニテスト 28 問題演習・ミニテスト 29 問題演習・ミニテスト 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 項目別チェックテスト、確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | コミュニケーション実践 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 音声を聞き取り口頭練習と談話練習を重ね、わかりやすく、相手に伝わる話し方について身に付ける |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | コミュニケーションの基本である聞き取り能力を高め、問題に対する適切な解決策を思考することができるようになる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ロジカルコミュニケーション編 2 ロジカルコミュニケーション編 3 ロジカルコミュニケーション編 4 事例研究 5 事例研究 6 ロジカルコミュニケーション実践 7 ロジカルコミュニケーション実践 8 傾聴編 9 傾聴編 10 傾聴編 11 事例研究 12 事例研究 13 傾聴実践 14 傾聴実践 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 授業内レポートの提出、確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネス教養 I |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 40時間 |
| 授業コマ数 | 20コマ |
| 授業概要 | 電卓の学習を通じ、計算技能を養う |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | 反復演習を行い、電卓計算技能の向上を図り、ミニテスト・確認テストに合格する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 項目別ミニテスト 8 電卓総合演習 9 電卓総合演習 10 電卓総合演習 11 電卓総合演習 12 電卓総合演習 13 電卓総合演習 14 電卓総合演習 15 電卓総合演習 16 電卓総合演習 17 電卓総合演習 18 電卓総合演習 19 電卓総合演習 20 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネス教養Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 40時間 |
| 授業コマ数 | 20コマ |
| 授業概要 | 電卓の学習を通じ、計算技能を養う |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と基礎的な問題演習 |
| 達成目標 | 反復演習を行い、電卓計算技能の向上を図り、ミニテスト・確認テストに合格する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習 3 電卓実践演習 4 電卓実践演習 5 電卓実践演習 6 電卓実践演習 7 電卓実践演習 8 電卓実践演習 9 電卓実践演習 10 電卓実践演習 11 項目別ミニテスト 12 電卓実践演習 13 電卓実践演習 14 電卓実践演習 15 電卓総合演習 16 電卓実践演習 17 電卓実践演習 18 電卓実践演習 19 電卓実践演習 20 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネス文書理解 I |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 40時間 |
| 授業コマ数 | 20コマ |
| 授業概要 | 様々な文章に触れ、解釈についてグループ検討を行い読解力の向上について学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 200字～1000字程度の文章を読み取り、問題に対する適切な解決策を見つけることができるようになる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文書理解の基礎知識 2 文書理解の基礎知識 3 文書理解の基礎知識 4 文書理解の基礎知識 5 問題演習・ミニテスト 6 問題演習・ミニテスト 7 複雑な文書を理解する方法 8 複雑な文書を理解する方法 9 複雑な文書を理解する方法 10 問題演習・ミニテスト 11 問題演習・ミニテスト 12 速読法 13 速読法 14 速読法 15 速読法 16 総合演習・ミニテスト 17 総合演習・ミニテスト 18 総合演習・ミニテスト 19 総合演習・ミニテスト 20 定期試験 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 定期試験における科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|-----------------------------------|------------|
| 授業科目 | ビジネス文書表現基礎 I | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 40時間 | |
| 授業コマ数 | 20コマ | |
| 授業概要 | ビジネス文書作成法、相手への伝え方に関する基本的な知識を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 文脈に応じて適切な言葉・表現を選ぶ能力を身につけ定期試験に合格する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 入門編 |
| | 2 | 入門編 |
| | 3 | 入門編 |
| | 4 | 入門編 |
| | 5 | 入門編 |
| | 6 | 入門編 |
| | 7 | 入門編 |
| | 8 | 入門編 |
| | 9 | 項目別チェックテスト |
| | 10 | 初級編 |
| | 11 | 初級編 |
| | 12 | 初級編 |
| | 13 | 初級編 |
| | 14 | 初級編 |
| | 15 | 初級編 |
| | 16 | 初級編 |
| | 17 | 初級編 |
| | 18 | 項目別チェックテスト |
| | 19 | 総合演習 |
| | 20 | 定期試験 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 定期試験における科目解答状況にて評価 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|------------|
| 授業科目 | ビジネス文書表現基礎Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 40時間 | |
| 授業コマ数 | 20コマ | |
| 授業概要 | ビジネス文書作成法、相手への伝え方に関する応用的な知識を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る | |
| 達成目標 | 様々な場面に応じた適切な言葉・表現を選ぶ能力を身につけ定期試験に合格する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 中級編 |
| | 2 | 中級編 |
| | 3 | 中級編 |
| | 4 | 中級編 |
| | 5 | 中級編 |
| | 6 | 中級編 |
| | 7 | 中級編 |
| | 8 | 中級編 |
| | 9 | 項目別チェックテスト |
| | 10 | 上級編 |
| | 11 | 上級編 |
| | 12 | 上級編 |
| | 13 | 上級編 |
| | 14 | 上級編 |
| | 15 | 上級編 |
| | 16 | 上級編 |
| | 17 | 上級編 |
| | 18 | 項目別チェックテスト |
| | 19 | 総合演習 |
| | 20 | 定期試験 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 定期試験における科目解答状況にて評価 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | ビジネス文書表現実践 I |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 通年 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 正しいビジネス文書作成の知識を使い、実践的な表現が使えるよう身に付ける |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 基本的なビジネス文書作成が出来るようになり、確認テストに合格する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 様々なビジネス文書 2 様々なビジネス文書 3 様々なビジネス文書 4 様々なビジネス文書 5 様々なビジネス文書 6 項目別チェックテスト 7 事例研究 8 事例研究 9 事例研究 10 事例研究 11 事例研究 12 事例研究 13 ビジネス文書の特徴 14 ビジネス文書の特徴 15 ビジネス文書の特徴 16 ビジネス文書の特徴 17 ビジネス文書の特徴 18 項目別チェックテスト 19 事例研究 20 事例研究 21 事例研究 22 事例研究 23 事例研究 24 事例研究 25 総合演習 26 総合演習 27 総合演習 28 総合演習 29 総合演習 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | ビジネス文書表現実践Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 応用的な文書作成の知識を学び、より実践的な表現が使えるよう身に付ける |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る |
| 達成目標 | 応用的なビジネス文書作成が出来るようになり、確認テストに合格する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 文章の構成法 2 文章の構成法 3 文章の構成法 4 文章の構成法 5 文章の構成法 6 項目別チェックテスト 7 事例研究 8 事例研究 9 事例研究 10 事例研究 11 事例研究 12 事例研究 13 文章表現のテクニック 14 文章表現のテクニック 15 文章表現のテクニック 16 文章表現のテクニック 17 文章表現のテクニック 18 項目別チェックテスト 19 事例研究 20 事例研究 21 事例研究 22 事例研究 23 事例研究 24 事例研究 25 総合演習 26 総合演習 27 総合演習 28 総合演習 29 総合演習 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストにおける科目解答状況にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|------------------------|
| 授業科目 | キャリアデザイン I | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 必修 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | 卒業後の進路を考えた準備を行い、具体的な目標を設定します。自分を知り、自己を簡潔・明瞭に伝えることに焦点をあて、面接試験対策の基礎を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 面接試験対策を通じて、進路実現に向けた活動を行う | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 就職・進学ガイダンス |
| | 2 | 職種・学科別ガイダンス 1 |
| | 3 | 職種・学科別ガイダンス 2 |
| | 4 | 就職試験・進学試験の事例研究 |
| | 5 | 面接試験の基本 |
| | 6 | 入退室の仕方、身嗜みのチェック（ペアワーク） |
| | 7 | 模擬面接 1（初級効果測定） |
| | 8 | 自己分析 1 |
| | 9 | 自己分析 2 |
| | 10 | 自己PR 1 |
| | 11 | 自己PR 2 |
| | 12 | 面接質問項目（想定質問） |
| | 13 | 志望動機作成 |
| | 14 | 志望動機作成 |
| | 15 | 模擬面接 2（中級効果測定） |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 各効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価 | |
| 備考 | 授業順序は変更する可能性がある | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|--------------|
| 授業科目 | 文化リテラシー I | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 多様な文化を読み解く力や、ディスカッションを用いて表現し、対話やコミュニケーションを生み出していくなどを養う。多文化について理解を深めるとともに、こうした力を育む取り組みについて事例をもとに検討する | |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る | |
| 達成目標 | 事例で確認した文化の概念を説明できるようになり、自らの理解を深めることができる | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 日常生活 |
| | 2 | 日常生活 |
| | 3 | 日常生活 |
| | 4 | 日常生活 |
| | 5 | 項目別チェックテスト |
| | 6 | 言語と文化 |
| | 7 | 言語と文化 |
| | 8 | 言語と文化 |
| | 9 | 言語と文化 |
| | 10 | 項目別チェックテスト |
| | 11 | 異文化コミュニケーション |
| | 12 | 異文化コミュニケーション |
| | 13 | 異文化コミュニケーション |
| | 14 | 異文化コミュニケーション |
| | 15 | 項目別チェックテスト |
| | 16 | 芸術文化 |
| | 17 | 芸術文化 |
| | 18 | 芸術文化 |
| | 19 | 芸術文化 |
| | 20 | 項目別チェックテスト |
| | 21 | 働くということ |
| | 22 | 働くということ |
| | 23 | 働くということ |
| | 24 | 働くということ |
| | 25 | 項目別チェックテスト |
| | 26 | 環境のためにできること |
| | 27 | 環境のためにできること |
| | 28 | 環境のためにできること |
| | 29 | 環境のためにできること |
| | 30 | 項目別チェックテスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 習熟度確認テストにおける科目解答状況にて評価 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------|--|
| 授業科目 | 国際文化基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 通年 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義及び実習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 異国文化や風習に関する基礎知識を知り、その文化における価値観・行動様式など多様性を様々な角度から確認し、体験する |
| 授業の進め方 | 施設訪問や行事参加を通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | ペアワーク・グループワーク、プレゼンテーションなどを通じて、様々な国の文化風習に関する認識や理解を深めることができる |
| 教科書 | 配布プリント・資料 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 異文化交流 2 異文化交流 3 異文化交流 4 異文化交流 5 異文化交流 6 学内実習または、施設訪問 7 レポート作成 8 国際関係 9 国際関係 10 国際関係 11 国際関係 12 国際関係 13 学内実習または、施設訪問 14 レポート作成 15 様々な国の文化風習 16 様々な国の文化風習 17 様々な国の文化風習 18 様々な国の文化風習 19 様々な国の文化風習 20 学内実習または、施設訪問 21 レポート作成 22 様々な国の文化風習 |

| | |
|--------------------|--|
| | 23 様々な国の文化風習 24 様々な国の文化風習 25 様々な国の文化風習 26 様々な国の文化風習 27 学内実習または、施設訪問 28 レポート作成 29 課題研究 30 課題研究 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 授業内レポートの完成度、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | 授業順序は変更する可能性がある |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | プロジェクトワーク |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | コミュニケーション実践の場として、プレゼンテーション技術を学び、分かりやすく相手に伝える手法を身に付ける |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | プレゼンテーションに求められる、考え方、伝え方の基本的な知識を学び、実際にプレゼンテーションの演習によって、表現能力や手法を習得する |
| 教科書 | その都度指示する |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションとは 2 企画内容ディスカッション 3 企画内容ディスカッション 4 企画内容ディスカッション 5 企画書作成 6 企画書作成 7 企画書作成 8 原稿作成 9 原稿作成 10 原稿作成 11 プレゼンテーションデータ作成 12 プレゼンテーションデータ作成 13 スピーチ練習 14 スピーチ練習 15 プレゼンテーション口頭発表 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | プレゼン内容、授業内レポートの完成度、授業参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|----------------|
| 授業科目 | パソコン実習 I | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | officeソフト（WORD・EXCEL）を使用した基本操作の確認と、officeソフトを利用した文書作成・表計算の基礎技術について身に付ける | |
| 授業の進め方 | 基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する | |
| 達成目標 | officeソフトの基本操作を身に付け、文書作成・表計算に関し学習を行うことによって、ソフトに用意されている多くの機能を活用した文書作成や表計算を操作できるようになる | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | パソコンの基本操作 |
| | 2 | マイクロソフトオフィスの機能 |
| | 3 | WORDの基本操作 |
| | 4 | WORDの基本操作 |
| | 5 | WORD演習 |
| | 6 | WORD演習 |
| | 7 | WORD演習 |
| | 8 | WORDミニテスト |
| | 9 | EXCELの基本操作 |
| | 10 | EXCELの基本操作 |
| | 11 | EXCEL演習 |
| | 12 | EXCEL演習 |
| | 13 | EXCEL演習 |
| | 14 | EXCELミニテスト |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記入門 I |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記の基本原則の理解する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の目的（基礎編） 2 簿記一巡（基礎編） 3 商品売買 I（基礎編） 4 商品売買 II（基礎編） 5 決算整理（基礎編） 6 精算表（基礎編） 7 現金および預金（基礎編） 8 手形（基礎編） 9 有形固定資産の決算整理（基礎編） 10 その他の債権および債務（基礎編） 11 その他の勘定および訂正仕訳（基礎編） 12 有形固定資産の決算整理（基礎編） 13 費用および収益の決算整理（基礎編） 14 株式会社の純資産（基礎編） 15 英米式決算法（基礎編） |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験にて評価 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|-------------------------------|------------------|
| 授業科目 | キャリアデザインⅡ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | 面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う | |
| 授業の進め方 | 前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する | |
| 達成目標 | 自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | エントリーシート・面接カード作成 |
| | 2 | エントリーシート・面接カード作成 |
| | 3 | エントリーシート・面接カード作成 |
| | 4 | エントリーシート・面接カード作成 |
| | 5 | エントリーシート・面接カード作成 |
| | 6 | 職種研究 |
| | 7 | 職種研究 |
| | 8 | 職種研究 |
| | 9 | 職種研究 |
| | 10 | 面接効果測定準備 |
| | 11 | 上級面接効果測定 |
| | 12 | 模擬面接準備 |
| | 13 | 模擬面接 |
| | 14 | 模擬面接 |
| | 15 | 模擬面接 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 提出物・実技による効果測定で総合的に評価 | |
| 備考 | 授業順序は変更する場合がある | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネス実務入門 I |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 授業を通して、刻々と変化するビジネスの現場について学習する |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ |
| 達成目標 | 社会の現場で起きている事例を学び、新社会人として必要なビジネス知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | 企業等の総務職でマネジメント経験のある実務家による講義 |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 第1印象の大切さ 2 ビジネスマナーはなぜ必要か 3 職場での心構え 4 上司からの指示の受け方 5 断りの言葉の柔らかい言い方 6 職場における協調性とは 7 自主性を磨こう 8 伝言の伝え方と受け方 9 会議のときに気を付けること 10 お客様への対応を考える 11 訪問時のマナーを身に着けよう 12 転勤と転属について学ぼう 13 挨拶状の書き方について 14 書類作成時に気を付けること 15 社会人として必要なこと |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 授業内レポートの完成度、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | 授業順序は変更する場合がある |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネス実務応用 I |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 国際ビジネス学科 |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 職場でのビジネスマナーや技能を身に付け、実践する |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ |
| 達成目標 | 職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成などの技術を身に付け、さらに現場で起こるヒューマンエラーの初期対処法を学ぶ |
| 教科書 | テキスト及び参考書 ※実務家指定のレジュメを配布することもある |
| 特記 | 企業のマネジメント経験のある実務家による演習 |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 人間関係の大切さについて① 2 人間関係の大切さについて② 3 人間関係と話し方・聞き方実践① 言葉遣いの大切さ 4 人間関係と話し方・聞き方実践② 受け答え時の姿勢 5 人間関係と話し方・聞き方実践③ 相手を不快にさせない立ち振る舞い 6 敬語と接遇用語について学ぼう 7 敬語と言葉遣い実践① 先輩や上司への話し方 8 敬語と言葉遣い実践② お客様への話し方 9 電話応対時に気を付けること 10 電話応対実践① 電話応対の基本 11 電話応対実践② 伝言メモのテンプレート 12 電話応対実践③ お客様からの注文 13 電話応対実践④ クレーム対応について 14 来客時の応対について 15 来客応対実践① 重役の訪問 16 来客応対実践② 複数人への応対 17 交際業務とは 18 ビジネス文書を作成しよう 19 ビジネス文書の作成実践① 挨拶文 20 ビジネス文書の作成実践② 新商品の紹介 21 ビジネス文書の作成実践③ 注文書の作成 22 ビジネス文書の作成実践④ おわび状の書き方 23 文書・資料管理の重要性 24 機密文書について学ぼう 25 文書・資料管理① 5S実践 26 文書・資料管理② 要・不要の選別 27 スケジュール管理の大切さ 28 日程管理実践① 手帳の書き方 29 日程管理実践② 電子機器の使い方 30 まとめ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 授業内レポートの完成度、授業への参加姿勢を含め総合的に評価 |
| 備考 | 授業順序は変更する場合がある |